



平成27年4月24日
海上保安庁

手軽に持ち運べる「海洋台帳」

海上保安庁で運用している「海洋台帳」が、4月24日（金）からタブレット端末対応になり、港湾や海浜などの屋外へも手軽に持ち運んでご利用いただけるようになります。

「海洋台帳」は、これまでデスクトップパソコンやノートパソコン向けに提供を行ってきました。

最近ではタブレット端末が普及してきたため、海洋台帳の利用者から「タブレット端末でも海洋台帳を使いたい」との要望が寄せられるようになりました。

海上保安庁では、こうした利用者からの要望に応えるため、比較的画面サイズが小さいタブレット端末でも適切に情報が表示でき、また、タッチパネル操作で使い易い「海洋台帳」を4月24日（金）に公開します。

今後、屋外など「海洋台帳」の利用シーンが広がるだけでなく、GPS機能により取得した位置情報や、タブレット端末で撮影した画像を「海洋台帳」上に表示できるなど、新たな機能もご利用いただけます（付図1参照）。

なお、対応しているOS及びインターネットブラウザは以下のとおりです。

- ・ Windows8.1以上 … Internet Explorer10以上, Google Chrome
- ・ Android4.4以上 … Google Chrome
- ・ iOS8.1以上 … Safari, Google Chrome

タブレット端末向け「海洋台帳」へのアクセスは以下のとおりです。

URL: <http://www.kaiyoudaichou.go.jp/Tablet/>

【用語の説明：海洋台帳】

「海洋台帳」は、利用者が必要とする海域の利用状況等の情報を迅速・的確に把握することを目的に、海洋基本計画に基づき政府一体となって構築し、平成24年5月に公開されたインターネットサービスです。

海流・潮汐・水温等の「海洋情報」、航路・港湾区域等の「海事情報」、及び漁業権設定区域等の「社会情報」、生物生息地や自然環境保全地域等の「環境情報」のほか、「船舶通航量」等の海洋に関する情報約100項目を、地図上に重ねて表示することができます（付図2参照）。

◆タブレット端末向け海洋台帳の新機能



GPSによる現在位置を表示
位置座標(経緯度値)の記録も可能

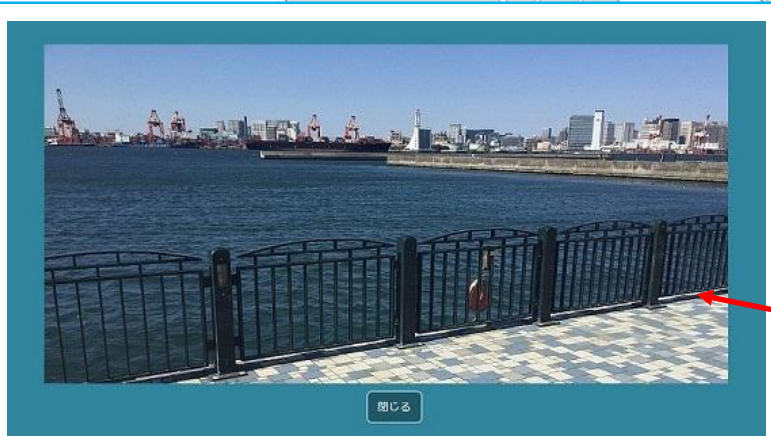
タップしやすいよう大きいボタンを採用

メニューバーをタップすることで背景図や情報項目等を選択可能

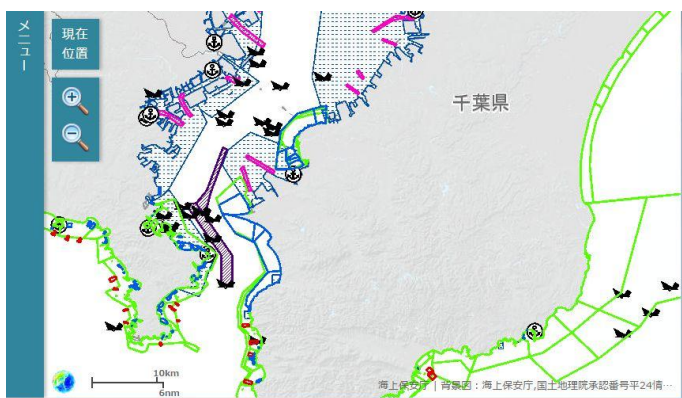


撮影した画像やメモを位置座標とともに保存できる

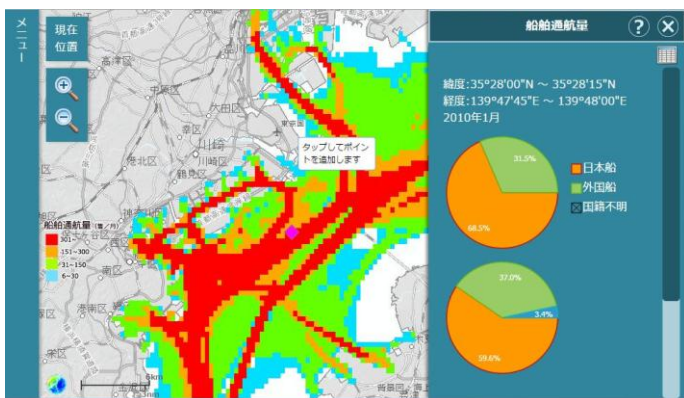
画像をタップすると拡大表示される



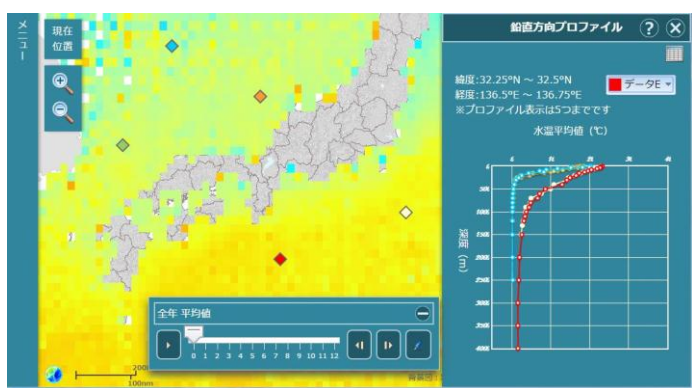
◆海洋台帳による各種情報の表示例



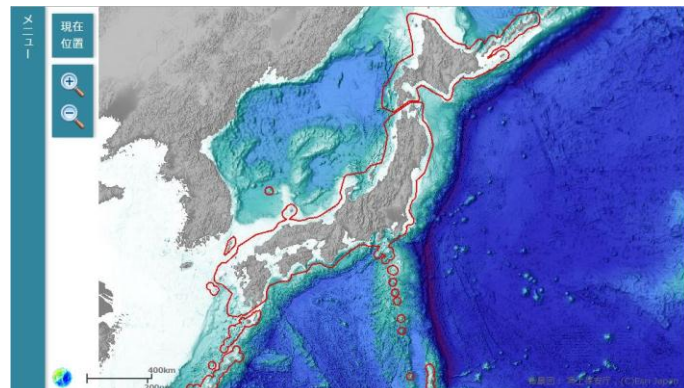
港則法区域、航路、
漁業権区域等



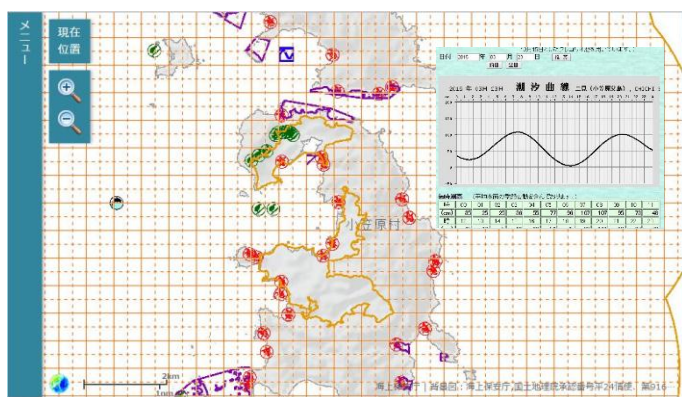
船舶通航量(ヒートマップ及び
船籍・全長別通航隻数グラフ)



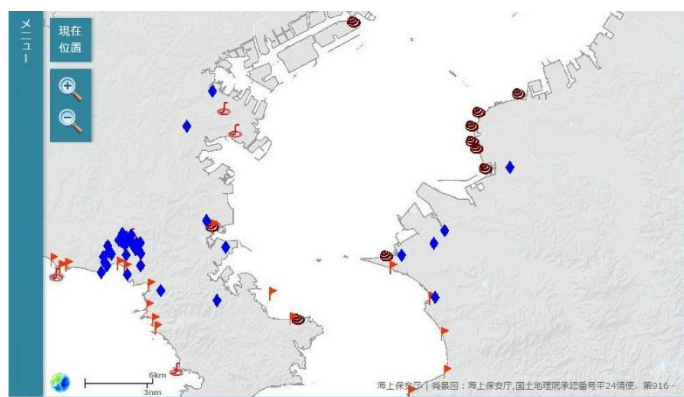
水温分布と鉛直プロファイル



日本周辺の海底地形と領海線



国立・国定公園、動植物生息域
と潮汐の重ね合わせ



海水浴場、史跡、名勝、
潮干狩り場